

# 令和3年度山形県生活習慣病検診等管理指導協議会 肺がん部会議事録

日時:令和4年2月14日(月) 15:30～  
場所:オンライン開催(zoom)

《 次 第 》

- 1 開会(進行:県がん対策・健康長寿日本一推進課 前田課長補佐)
- 2 あいさつ(県健康福祉部 阿彦医療統括監)
- 3 協議
  - (1) 令和2年度肺がん検診及び結核健診の実施状況について
  - (2) 令和2年度呼吸器検診(肺がん検診・結核健診)発見肺がん症例の患者調査票確認結果について
  - (3) 令和3年度がん検診精度管理調査結果について
  - (4) 回報書の変更案について
  - (5) その他

## 事務局説明(1)令和2年度肺がん検診及び結核健診の実施状況について

井上議長

西川町のデータの修正の件ですけれども、これは最終的に修正されたものはどこかで発表されるのですか。この資料ですとまだ修正されていないようですが。

事務局

調査時点の令和2年の7月に遡った数値は出せないということでしたので、成績表は修正せず口頭での説明でご了承いただければと思います。

井上議長

承知しました。よろしいでしょうか。やはりコロナの影響で、受診者が減ってしまったというのが影響しているのでしょうか、全体の数が減っているっていうのは。

事務局

その影響もあるかと思います。

井上議長

確か去年の対がん協会の報告ですと、3割くらい検診の受診者が減っているというデータがありますが、山形県ではそこまでではないみたいですね。

## 事務局説明(2)令和2年度呼吸器検診発見肺がん症例の患者調査票確認結果について

井上議長

早期がんの割合について、今回のデータではかなり下がってしまっているのですが、事務局で何かわかることはあるでしょうか。受診率なども関係あるのでしょうか。

事務局

分析はしていないのですが、一番低くなっている山形市医師会健診センターは6名中2名ということで、1名の増減で率の変動はかなりあります。

井上議長

そうですね、全体の数がそれほど多くないので、1例2例変わると比率が変わってしまうということはあるのでしょうか。

事務局

そうかと思います。

井上議長

わかりました。

**事務局説明 (3) 令和3年度がん検診精度管理調査結果について**

井上議長

やまがた健康推進機構で38ページの2(8)が×というのは、放射線技師に対しての計画書を出していなかったということなのでしょうか。

事務局

市町村に提出していない検診センターがあったと聞いています。

やまがた推進機構

そのとおりです。

井上議長

事務的なことであれば、解決は可能と思いますのでよろしくお願いします。

**事務局説明 (4) 回報書の変更案について**

井上議長

これはいつから変更になりますか。

事務局

令和6年度からです。2024年度になります。

井上議長

組織型については、もう問わないことになるのでしょうか。今までだとあったようですが。新しい回報書では、病期の方を重視して組織の方は報告しないということになるのですか。精密検査の報告書にもないですね。今度からは組織型は詰めなくてもいいということでしょうか。何か別の方法で集計を取るのですか。

事務局

県の方で、発見がんの追跡調査をしています。回報書で、精密検査機関、最終的な確診をしたところには、追跡調査の依頼は今後も変わらず行う予定です。

井上議長

ということは、速報的に調べるところは、がんの診断がついたかどうか、その病期はどうだったか、精密検査でなにか大きな問題はなかったか、その点を調べるってということになるのでしょうか。

事務局

はい、市町村が地域保健健康増進報告書に報告できる内容に絞って、回報書の様式にしたところ です。

井上議長

かなり大きな変更にはなるとは思いますが、運用していく上で不都合なところはないのでしょうか。

八鍬委員

組織型は非常に気になるところです。診断結果のところ項目として入れておいた方が何かといいのではないかなと思います。最終診断の医療機関の方が書くわけですから、当然組織型も分かっているわけで、後で調べるよりここで一緒に調べてしまった方がいいと思いますが、いかがでしょうか。

### 井上議長

ももとの回報書と同じような形で加えることができるようですが、どうでしょうか。

### 事務局

わかりました。

### 鈴木委員

私もそう思います。組織型を項目として入れないということは、回報書を出すタイミングをより早くしたいなどということがあって意図的になくしたということでしょうか。中皮腫などと確定診断がついているという段階であれば、当然組織型もある程度はつきり分かっていると思うので、入れたほうがいいと思います。

### 井上議長

私も同感です。組織型を入れておいた方が後で調べやすいと思います。ぜひ項目として入れていただきたいと思います。回報書の提出の目途はどれくらいを想定しているのでしょうか。

### 事務局

確診が出た時点ではありますが、最終的に市町村から国に報告する期限は翌年度内くらいになっています。

### 井上議長

ちょっと困るのが、確定がつかなくて画像診断でフォローし続ける症例がたまにあるのですが、そういう場合どのタイミングで出せばいいかなと非常に迷うときがあります。

### 事務局

中央検診委員会でも話題になってところではあります。あまり遅くなると市町村の精密検査の受診勧奨や集計に支障が出るので、運用で目安を載せるかどうかについて、ご意見があれば伺いたいと思います。

### 井上議長

例えば、一番下のところに、年度で集計をとるのでご協力くださいといったような文言があると、これくらいで出せばいいのかなという目安になるとは思います。

### 事務局

貴重なご意見ありがとうございます。

### 井上議長

2年後に改正ですね。最終的にはどこで決まるのでしょうか。

### 事務局

最終的には来年度に成績表や報告書の見直しを提案した上で、健康診査要領の改正案ということで、協議会に回報書の見直しを含めて一括してお諮りしたいと考えております。もう一回協議会にお諮りします。

### 井上部会長

では、その時点で現場の先生方の意見なども上げていただきながら、協議会の先生方にはご協力をお願いしたいと思います。ありがとうございます。参考資料については何かありますか。

### 事務局

はい、令和3年の10月に指針が改正しております。アンダーラインのところは改正箇所になっていますので、ご覧いただければと思います。

### 事務局説明 (5)その他

#### 阿彦医療統括監

資料4の原発性肺癌臨床病期分類で、平成30年度と令和元年度に比べて、令和2年度でⅠA1期とⅠA2期がぐっと減って、それに対してⅢB期とⅣA期が非常に増えているんですね。早期がん比率が低下して、腫瘍径5cm

以上とか遠隔転移している症例が増加しているという状況になっています。症例検討のときに、このあたりを注目していただければ有意義なのではと思います。

井上議長

はい、ありがとうございます。ぜひ今後検討させていただきます。事務局の方からこの件について何かありますか。

事務局

症例検討会は3月19日に予定しているので、そちらの方に話をしたいと思います。

井上部会長

よろしく申し上げます。